



TITLE:

第49回近畿地区国公立大学図書館協議会総会

AUTHOR(S):

CITATION:

第49回近畿地区国公立大学図書館協議会総会. 静脩 1980, 17(2): 7-8

ISSUE DATE:

1980-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36879>

RIGHT:

また、コンピューターによる情報検索という展望がある。本学部でもERICの検索実験を重ね

てきており、全学的なシステムの構成に伴って、各種のデータ・ベースがコンピューターによって検索できるようになるのもそう遠い将来ではなかろう。

第27回 国立大学図書館協議会総会

第27回の国立大学図書館協議会総会は6月19・20日の両日にわたり、東北大学を会場として開催された。本年1月の学術審議会の答申「今後における学術情報システムの在り方について」に対応し、研究集会テーマのほか、各分科会の協議題にも将来の学術情報システムにおける大学図書館の在り方に関連する問題が数多く取り上げられた。

主要行事日程

第1日

- 1, 各地区協議会報告。
- 2, 「図書館相互協力」調査研究班報告。
主査館 横浜国立大学
- 3, 国立大学図書館協議会賞受賞者表彰式
受賞者 鳥取大学附属図書館医学部分館
中川 克哉氏

件名 「医学図書館のための参考図書資料」

4, 研究集会

テーマ 「全国的規模で展開する学術情報システムに、各大学内の図書館体制を如何に整合し、協力させ得るか。」

5, 昭和55年度役員選挙

会長館に東京大学、副会長館に京都大学、東北大学がそれぞれ選出された。

第2日

1, 分科会

第1分科会 (運営・サービス)

第2分科会 (予算)

第3分科会 (人事)

2, 全体会議 (分科会のとりまとめ等)

第49回 近畿地区国公立図書館協議会総会

第49回の近畿地区国公立大学図書館協議会総会は、6月4日に当番館の滋賀医科大学を会場として開催された。当総会で兵庫教育大学が新しく加盟した。オブザーバー出席は、私立大学図書館協会京阪神理事の仏教大学、近畿大学であった。

総会の概要は、次のとおり。

1, 昭和54年度事業報告

- 1) 第48回総会 5月30日 当番館 京都府立医科大学 於 御車会館
- 2) 主題別研究集会 8月30日 於 大阪女子大学 講師 同館事務長 大庭健吉氏
演題「英和辞典発達史一書誌学的、出版文化的考察」 参加者 21名
- 3) 図書館施設に関する研究集会
(1) 6月1日 於 滋賀医科大学 参加者78名

(2) 2月27日 於 大阪外国語大学 参加者91名

4) 講演会 5月26日 於 京都大学

講師 リサーチライブラリ・グループ システム部長 John R.Schroeder

演題「米国における図書館情報ネットワークの現状について」 参加者160名

5) 館長・事務(部・課)長会議 (第4回)

9月7日 当番館 奈良県立医科大学
於 猿沢荘 参加者47名

6) 委員会活動

(1) 図書館(学)関係文献に関する調査委員会
(主査 神戸市外国語大学) 目録予備版作成、委員会作業完了。

(2) 図書館業務機械化に関する委員会 (主査 大阪大学) 近畿地区現行受入欧文雑誌リ

スト作成システム予備版作成，委員会作業完了。

2, 昭和55年度事業計画

- 1) 幹事館 京都大学，大阪府立大学に決定。
- 2) 企画委員会委員館 滋賀・京都・京都教育・京都府立・大阪・大阪府立・神戸市外国語・奈良女子・奈良県立医科・和歌山県立医科各大学 10館に決定。

3) 56年度総会当番館 滋賀大学に決定。

4) 館長・事務（部・課）長連絡会議（第5回）
当番館 京都府立大学 9月5日開催予定。

5) 図書館施設に関する研究集会
姫路工業大学等を予定。

6) その他

委員会活動等の基本的なことを協議し，その具体化は，企画委員会に一任。

講演会の開催

文部省では毎年，学者，専門家の招致事業を行っているが，このほど，米国の Research Libraries Group, Inc のシステム部長 J.R. シュレーダー氏が招かれ，京都大学附属図書館に立ち寄せられたのを機に昭和55年5月26日（月）近畿地区国立大学図書館協議会の主催で講演会を開催した。近畿地区以西の国・公・私立大学の図書館関係者160名が参加し，盛会のうちに終了した。

講演者および演題

John R. Schroeder

Director Computer Systems and Services,
Research Libraries Group, Stanford University.

「米国における図書館情報ネットワークの現状について」

なお，このあと，シュレーダー氏を囲んで，図書館長による懇談会が開かれ，なごやかな雰囲気の中にも活発な意見が交換された。

昭和54年度附属図書館利用状況（部局別利用状況）

種 別 所属別	閲覧数（冊数・人員）				貸出数（冊数・人員）				合 計		利用比 %	
	和	洋	計	人員	和	洋	計	人員	冊 数	人 員	冊 数	人 員
教 養	11,177	49	11,226	6,254	1,578	28	1,606	1,334	12,832	7,588	13.4	15.3
法	19,554	40	19,594	10,574	892	3	895	787	20,489	11,361	21.3	22.9
経	2,033	6	2,039	1,188	405	1	406	337	2,445	1,525	2.5	3.1
文	8,911	191	9,102	4,305	2,589	23	2,612	1,748	11,714	6,053	12.2	12.2
教 育	1,153	8	1,161	589	185	3	188	139	1,349	728	1.4	1.5
工	8,317	30	8,347	4,531	972	8	980	856	9,327	5,387	9.7	10.9
理	7,956	35	7,991	4,312	783	16	799	697	8,790	5,009	9.2	10.1
農	915	5	920	498	160	5	165	122	1,085	620	1.1	1.2
医	837	6	843	519	106	0	106	98	949	617	1.0	1.2
薬	315	0	315	164	5	0	5	5	320	169	0.3	0.3
大 学 院	8,010	359	8,369	3,598	2,860	154	3,014	1,496	11,383	5,094	11.9	10.3
職 員	2,281	156	2,437	997	3,016	588	3,604	1,070	6,041	2,067	6.3	4.2
特 関	5,276	260	5,536	1,503	0	0	0	0	5,536	1,503	5.8	3.0
研修員他	2,528	133	2,661	1,427	1,054	26	1,080	478	3,741	1,905	3.9	3.8
合 計	79,263	1,278	80,541	40,459	14,605	855	15,460	9,167	96,001	49,626	100.0	100.0